

あさの  
安芸国広島浅野家家中 おやま  
小山家文書 仮目録

広島県立文書館

平成 28 年 (2016) 6 月

凡 例

- 1 本目録には、安芸国広島浅野家家中 小山家文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

**請求記号** 本文書群の群番号は (200503) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200503/1

**表 題** 資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば( )で補った。

**年 代** 資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は( )書きで表記した。

**作 成** 資料に授受関係のあるものは→で結んで表記した。

**形 態** 資料の形態を記した。

**数 量** 資料の点数を記した。

**備 考** 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

## 【文書群概要】

# 安芸国広島<sup>あさの</sup>浅野家家中 <sup>おやま</sup>小山家文書（請求記号 200503）

広島藩士小山家に伝来した武家文書。

**出所** 不明（広島県立図書館から移管）

**出所地名** 安芸国広島城下／広島市〔現在地名〕

**分量** 2点（1冊，1通）

**収蔵までの経緯** 昭和52年（1977）6月ごろに広島県立図書館へ寄贈され，平成17年4月に広島県立文書館へ移管された。

**年代** 正徳2年（1712）頃と安政7年（1860）

**歴史** 小山家の本国は近江国で，赤穂藩士の大石家は小山家と同族。大石内蔵助<sup>よしかつ</sup>良雄は，広島藩主浅野綱晟・綱長に350石で仕えた小山孫六<sup>よしずみ</sup>良速の兄大石良昭<sup>よしあき</sup>の長男に当たる。良速曾孫<sup>よしなお</sup>の良尚は，良雄の3男で広島藩に仕官した大石大三郎<sup>よしやす</sup>良恭の養子となった。

**内容** 広島藩主の黒印状（知行目録）と「江州栗太郡大石小山氏系図」。寄贈を受けた県立図書館長（当時）のメモには，黒印状について「大石良雄の叔父である小山孫六の家<sup>くりた</sup>に代々伝わる（小山家は元三川町圓隆寺の隣に居宅あり）」，系図については「表紙裏の貼紙は大石良雄筆と伝あり，良雄の履歴を記したものである」とある。

**検索手段** 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

**参考文献** 『赤穂事件と広島一知られざる忠臣蔵』（平成18年度広島城企画展展示図録）

（2015.4.25 記述／西村 晃）

200503/1

覚(小山源大夫安芸・備後国知行目録)

享保13. 1.21

(浅野吉長黒印)→小山源大夫 堅継紙・1通  
とのへ

高500石

---

200503/2

[江州栗太郡大石小山氏系図]

(正徳2頃)

竖冊・1冊

表紙の貼紙に「大[ ]」とあるが、虫損のため読めず

---